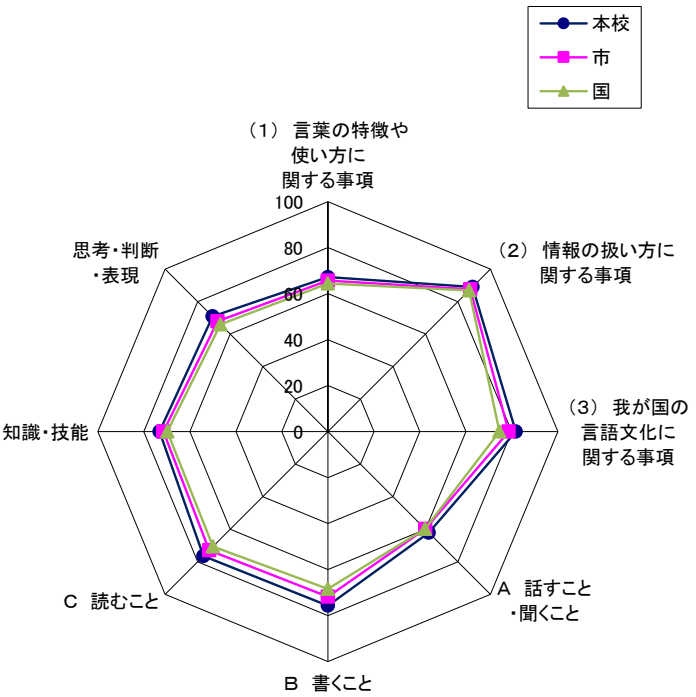
宇都宮市立富士見小学校第６学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	（1） 言葉の特徴や使い方に関する事項	67.2	65.7	64.4
	（2） 情報の扱い方に関する事項	89.0	87.6	86.9
	（3） 我が国の言語文化に関する事項	81.7	78.6	74.6
	A 話すこと・聞くこと	62.1	59.9	59.8
	B 書くこと	75.7	71.8	68.4
	C 読むこと	76.5	72.9	70.7
観点	知識・技能	73.2	71.5	69.8
	思考・判断・表現	70.9	67.8	66.0
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
（1）言語の特徴や使い方に関する事項	○本領域の平均正答率は67.2%で，国の正答率を2.8ポイント上回った。 ●「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」という設問の平均正答率は，国の正答率を0.6ポイント上回っているが，44.0%だった。	・新出漢字を学習する際，例文や熟語など文中での使用を意識した練習を行うとともに，当該学年までに配当されている漢字についても，文や文章の中で使うことができるように指導していく。また，授業だけにとどまらず宿題を通して，定着が図れるよう指導していく。
（2）情報の扱い方に関する事項	○本領域の平均正答率は89.0%で，国の正答率を2.1ポイント上回った。 ○「情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う」という設問だったが，解答形式が選択式ということもあり，無回答率は0%だった。	・図やメモから必要な情報を読み取り，活用する力は国語に限らず，他教科でも必要とされる能力であるので，教科横断的に学力の定着を図っていく。
（3）我が国の言語文化に関する事項	○本領域の平均正答率は81.7%で，国の正答率を7.1ポイント上回った。 ○「日常的に読書に親しみ，読書が自分の考えを広げるのに役立つということに気付く」という設問だったが，解答形式が選択式であったものの，無回答率は4.6%だった。	・日々の授業において，どんなことが分かるのか，問題点は何かなど，主体性をもって取り組めるように指導していく。 ・読書活動を推奨したり，計画的に図書室を利用したりするなど，読書の楽しさやよさに気付けるようにする。
A 話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は62.1%で，国の正答率を2.3ポイント上回った。 ●「資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫する」の平均正答率は51.4%で，国の正答率を1.5ポイント下回った。	・スピーチや授業において友達の発言や教師の話を聞く際には，話し手の意図や内容の中心を意識して聞くように指導する。また，話合い活動において，自分の立場をはっきりさせながら相手の話を聞いたり，自分の考えを述べたりするよう指導をしていく。
B 書くこと	○本領域の平均正答率は75.7%で，国の正答率を7.3ポイント上回った。 ○「目的や意図に応じて，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にする」の平均正答率は90.8%で，国の正答率を10.5ポイント上回った。	・構成や字数などの条件を基に文章を書くことに取り組むとともに，自分の考えを書くなどの条件を設定し，文章を書く経験を積み重ねていく。
C 読むこと	○本領域の平均正答率は76.5%で，国の正答率を5.8ポイント上回った。 ○「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりする」の平均正答率は82.6%で，国の正答率を10.0ポイント上回った。	・パンフレットや新聞など，多様な形態の文章を読んで内容を捉える活動に取り組ませるとともに，読んで分かったことを自分の言葉でまとめたり，自分の考えを書いたりする活動にも取り組ませていく。